

大規模災害対策で  
市民の生命・財産を守れ



たしろ かずお  
田代 一男 議員

**Q** 災害時に活用が期待されているものに「液体ミルク」があるが、避難所に配備する計画はあるのか。

**A** 現在、乳児用の液体ミルクの避難所配備計画はありません。

自転車保険への加入で  
賠償能力を

**Q** 自転車と歩行者との接触事故が後を絶たない。自転車と歩行者との接触事故が多く発生していることについて、どう捉えているのか。

**A** 平成29年中に市内で発生した自転車と歩行者との接触事故は、31件でした。自転車の安全利用を徹底するための対策を強化することが重要であると考えています。



県民の加入が義務付けられた自転車保険

**Q** 人身事故になれば多額の賠償金が必要になるため、自転車保険の加入を義務付けるよう条例化すべきと考えるが、見解は。

**A** 平成29年4月1日に千葉県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例が施行され、保険加入は全ての県民の義務となっています。市でも自転車の安全利用の徹底とあわせて、賠償責任が生じた場合に備えた保険加入の必要性を、広報・ホーム

香取市創生戦略の再点検と  
今後の課題を問う



おの かつまさ  
小野 勝正 議員

国道356号佐原・小見川間の  
早期着工戦略を

**Q** 国道356号バイパス化が遅れている。毎年要望を行っているが、進捗状況は。県香取土木事務所へ確認したところ、津宮地区から小見川大橋までの区間

は、事業化へ向けた調査が行われた状況で、事業化には至っていないとのことでした。事業化に向け、引き続き要望していきます。

**Q** 早期着工を図るよう国・県に強く要望するべきでは。

**A** 市としても、事業を実施している区間橋区間の事業化に向け、要望活動を続けていきます。また、利根川沿線の市町で設立した「一般国道356号整備促進期成同盟」においても、早期完成に向け国・県に対し要望活動を続けていきます。

東関東佐原PAにバス停をつくり  
交通の利便性を図れ

**Q** 佐原PAにバス停をつくれれば、東京まで1時間15分で行ける。1日に82本もの高速バスが走っている鹿嶋・東京間のバスを利用できるよう整備すべき。

統合される山田小学校に  
「ことばの教室」を

ページ等で周知し、加入促進を図っていきま

**Q** 特別支援教育の取り組みと現状はどうなっているのか。

**A** 取り組みとして、通常学級、通級指導教室、特別支援学級における教材や施設等の環境整備の充実、特別支援教育支援員の人的配置に努めています。また、特別支援教育体制推進事業も行っています。現状として、特別支援学級は、小学校が21校中18校、中学校は7校全てに設置しています。通級指導教室は、小学校5校に6教室、中学校1校に1教室設置しています。

**Q** 平成31年度、5つの小学校が1つに統合される山田小学校にも、「ことばの教室」が必要だと考えるが、見解は。

**A** 現在、山田地区の小学校5校で17人の児童が通級しています。今後も必要性、絶対数が高まると考えていますので、県教育委員会に対して設置を強く要望していきます。

**A** 高速道路を管理する関係機関と協議した結果、停留所の整備は可能との見解がありました。しかし、高速バス運行事業者等と協議した結果、同路線は、ほぼ満席で運行しているため乗車できない可能性があること、停車により運行時間が長くなること、運行状況に影響がでることなどの理由から、事業者の理解が得られず、現状での実現は難しい状況です。

**Q** 田園空間ガイドマップを生かした歴史と文化の散策を楽しめる健康づくりへの考えは。

**A** 各地域の自然史跡保存会や庁内の健康づくり等の関係各課と連携を図り、田園空間ガイドマップのPRに努め、健康づくりへ有効活用していきます。

**Q** ボート、カヌーを利用して他市にない環境を生かした取り組みを。

**A** ボートやカヌーの競技大会をはじめ、水上スポーツに関心を持ってもらえよう、親子水上スポーツ体験会や新規事業でB&Gスクールなどを実施し、水上スポーツの楽しさや水辺での安全管理が学べる取り組みをしています。今後も内容の充実を図っていきます。



早期バイパス化が望まれる国道356号(大倉小学校前)